

○コンピュータ理工学コース

コンピュータ理工学コースでは、修了生に求める人工知能、コンピューティングシステム、メディア情報処理、システム設計の各分野の専門知識・スキルについて、高度かつ先端的な理論や技術を選択必修の専門科目として修得します。また、大学院共通科目や工学専攻共通科目を通して、俯瞰的なものの見方を習得します。新たな技術を生み出すために必要となる理学的分析力や探究心、問題解決能力や工学的デザイン力は、必修科目であるコンピュータ理工学演習とコンピュータ理工学研究によって涵養します。これらを通して研究開発能力を習得します。

表 CS-1. ディプロマポリシーで定めた専門知識・技術とカリキュラムの関係

専門知識・技術	授業名	時間割番号
A1	機械学習特論	GTK505
A2	大規模離散構造処理特論	GTK501
B1	並列コンピューティング特論	GTK503
C1	デジタル音声処理特論	GTK510
C2	コンピュータビジョン特論	GTK509
C3	言語・画像メディア処理特論	GTK511
C4	データビジュアライゼーション特論	GTK514
D1	ユーザ中心設計学特論	GTK508
D2	ソフトウェア工学特論	GTK502
D3	デザイン思考実践特論	GTK514
E1	コンピュータ理工学演習第一A	GTK603
	コンピュータ理工学演習第一B	GTK604
	コンピュータ理工学演習第二A	GTK605
	コンピュータ理工学演習第二B	GTK606
	コンピュータ理工学研究第一A	GTK607
	コンピュータ理工学研究第一B	GTK608
	コンピュータ理工学研究第二A	GTK609
	コンピュータ理工学研究第二B	GTK610
E2	科学者倫理	GSC501
E3	キャリアマネジメント	GSC502 A
E4	サイエンスコミュニケーション	GSC503 F
E5	総合工学特論	GTT501
	コンピュータ理工学特別講義 I	GTK601
	コンピュータ理工学特別講義 II	GTK602
	コンピュータ理工学特別講義 III	GTK611
	コンピュータ理工学特別講義 IV	GTK612
	コンピュータ理工学特別講義 V	GTK613
	コンピュータ理工学特別講義 VI	GTK614
	コンピュータ理工学特別講義 VII	GTK615
E6	研究発表特論 A	GTT508
	研究発表特論 B	GTT509

